

6-23 近畿地方の地殻変動

Crustal Movements in the Kinki District

国土地理院
Geographical Survey Institute

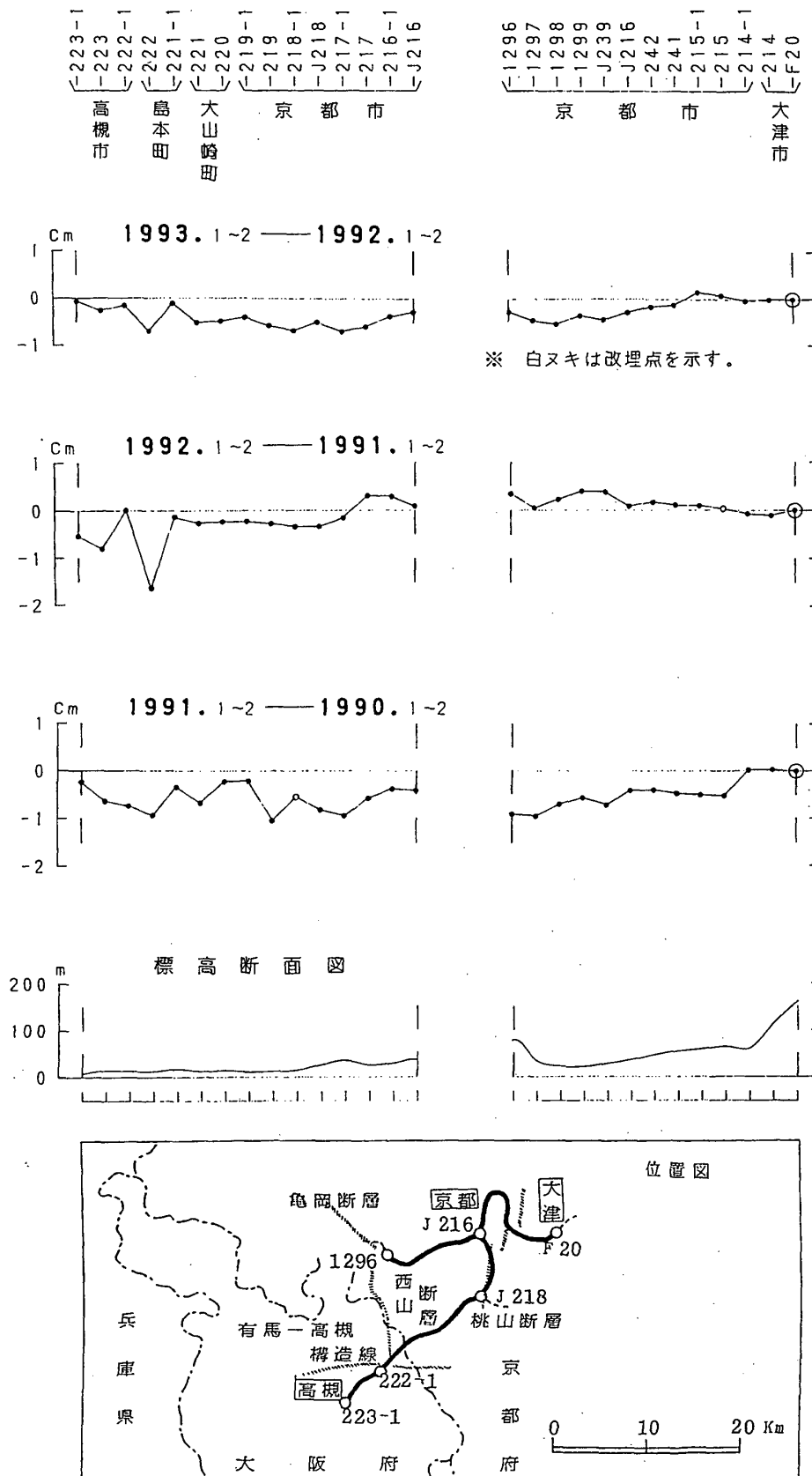
第1図は、高槻～大津間の上下変動である。1992年1～2月から1993年1～2月の1年間、京都市が最大約7mm程度沈下している。第2図は、大阪地域の上下変動である。大阪市から尼崎市にかけて3cm程度沈下しているが、地下鉄工事の影響が大きいと考えられる。第3図は、泉南～柏原間の上下変動である。堺市より南側が平均的に1cm程度の隆起となっている。

第4図は、近畿地方の各験潮場間の月平均潮位差である。串本、白浜等紀伊半島の先端部が沈降している。また、海南が大阪湾内の験潮場に対して隆起を続けている。

第5図は、和歌山精密変歪測量結果である。中央構造線の右ずれ運動と調和的な変動がみられる。

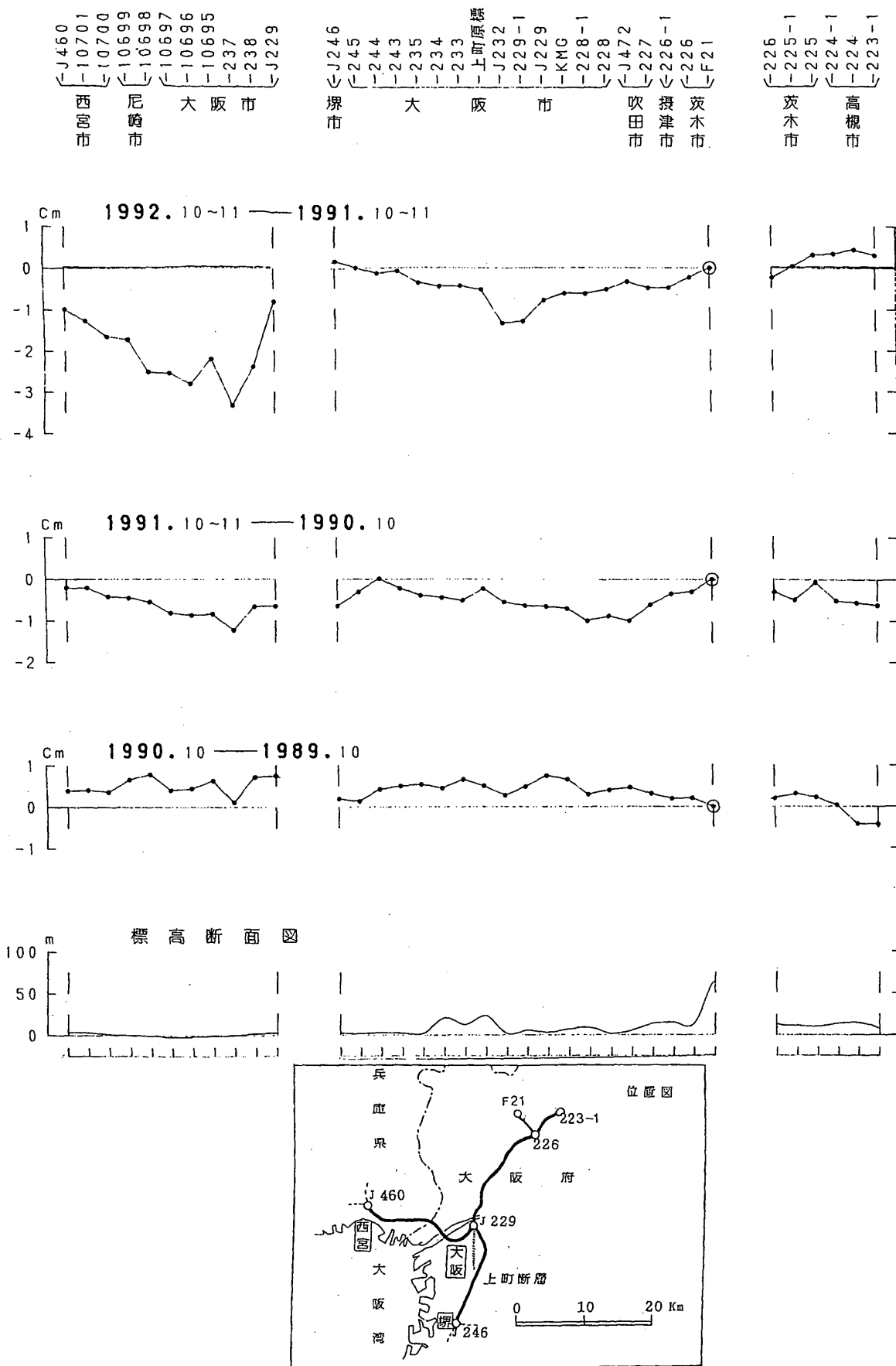
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：近畿地方の上下変動，連絡会報，42（1989），333-339.
- 2) 国土地理院：近畿・中部地方の地殻変動，連絡会報，43（1990），468-472.
- 3) 国土地理院：近畿地方の地殻変動，連絡会報，44（1990），375-381.
- 4) 国土地理院：近畿地方の地殻変動，連絡会報，45（1991），425-435.
- 5) 国土地理院：近畿地方の地殻変動，連絡会報，46（1991），386-390.
- 6) 国土地理院：近畿地方の地殻変動，連絡会報，48（1992），418-422.
- 7) 国土地理院：中部・近畿地方の地殻変動，連絡会報，49（1993），504-520.



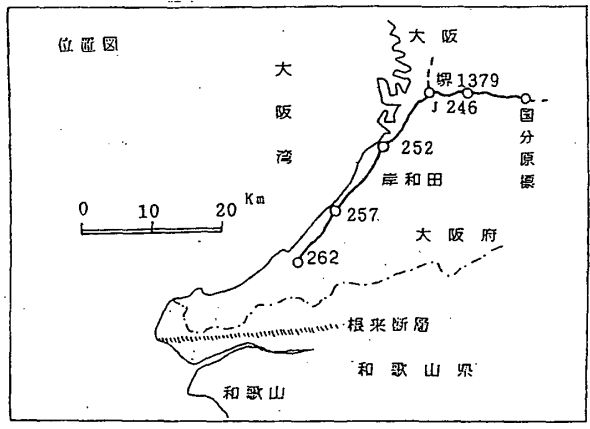
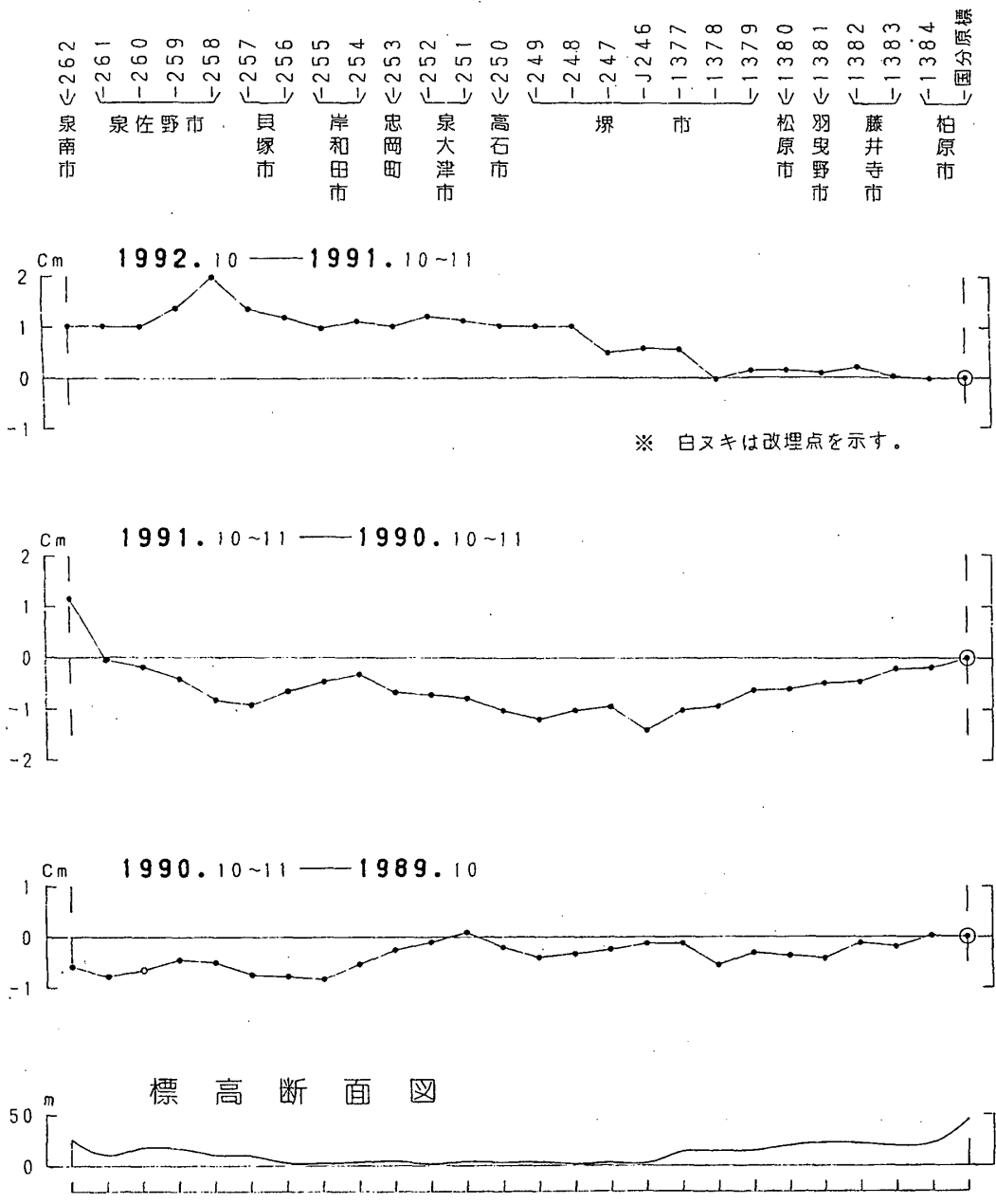
第1図 高槻～大津間の上下変動

Fig.1 Level changes along the route between Takatsuki to Otsu.



第2図 大阪地域の上下変動

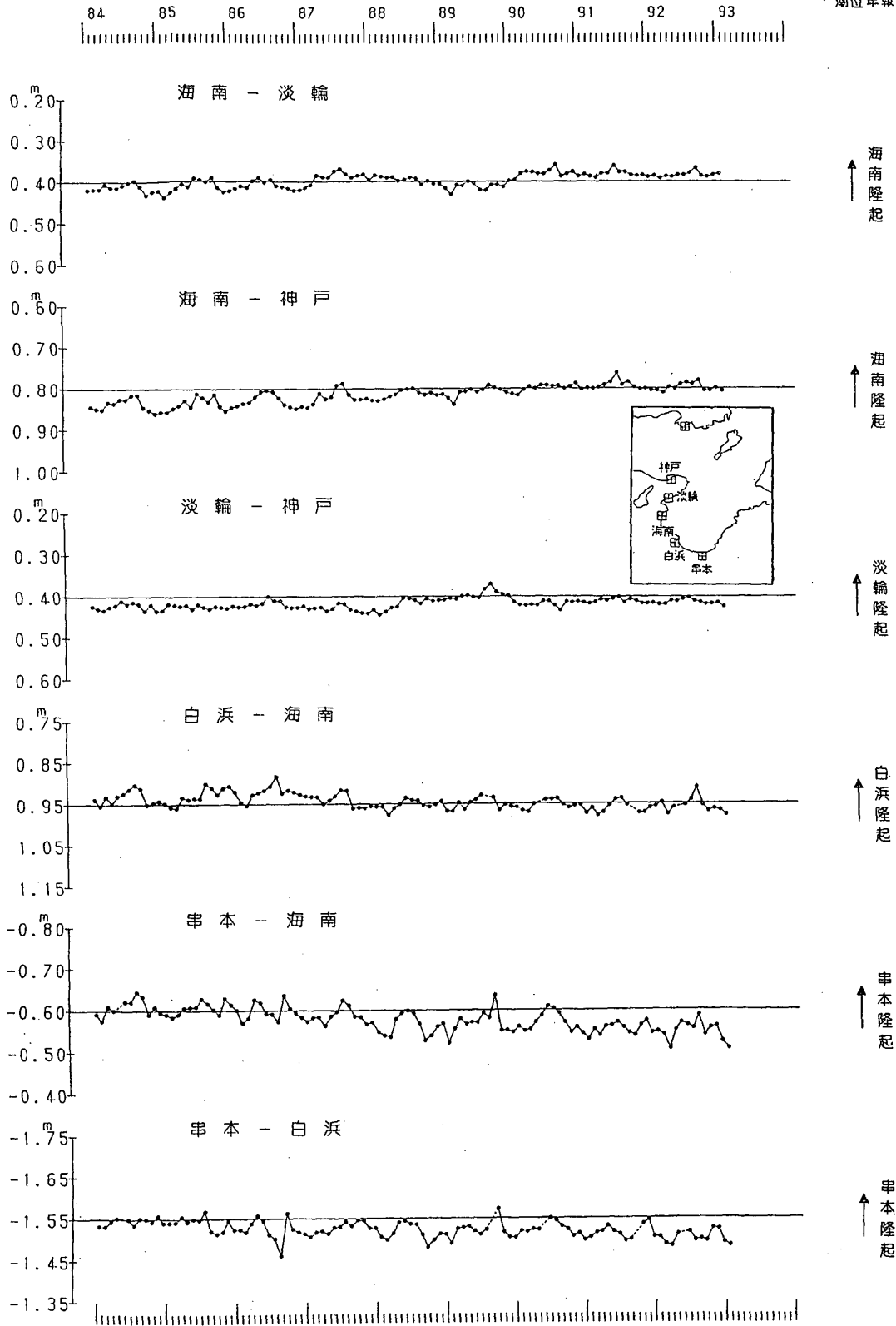
Fig.2 Level changes in the Osaka district.



第3図 泉南～柏原間の上下変動

Fig.3 Level changes along the route between Sen'nan to Kashiwara.

海岸昇降検知センター
「潮位年報」による。

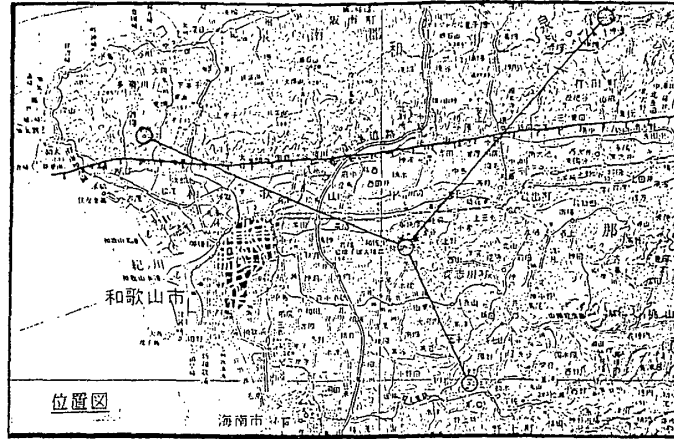


第4図 神戸，淡輪，海南，白浜，串本験潮場間の月平均潮位差

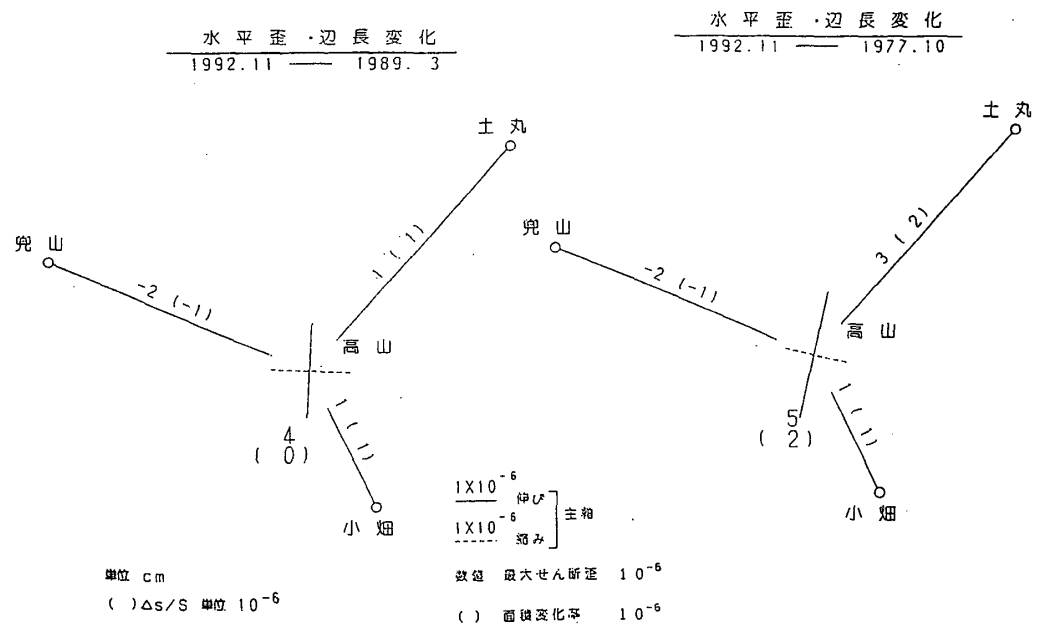
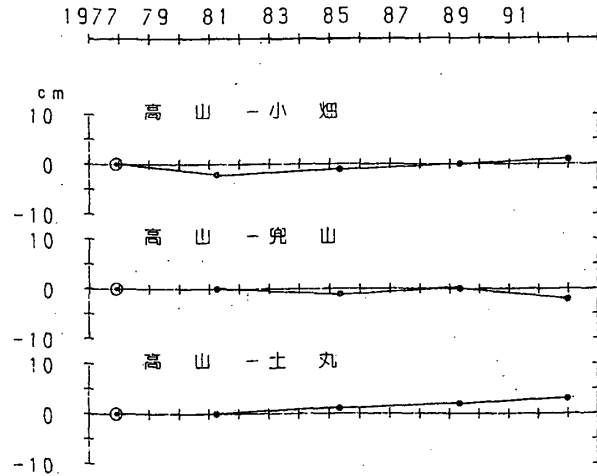
Fig.4 Differences in the monthly mean sea levels between the Kobe, Tan'nawa, Kainan, Shirahama and Kushimoto tide stations.

区間	測定年月	1977	81	85	89	92
		10	2	3	3	11
高山～小畑		7,444.62	60	61	62	63
高山～兜山		13,853.32	32	31	32	30
高山～土丸		14,726.14	14	15	16	17

兜山測点は、92年11月の観測後、傾斜改埋を行い、偏心量を補正した。



辺長の経年変化



第5図 和歌山精密変歪測量結果

Fig.5 Results of the precise distance measurements in the Wakayama radial baselines.